

○「荒廃農地の解消に向けて」

(京都府与謝野町加悦地区連絡会議)(第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

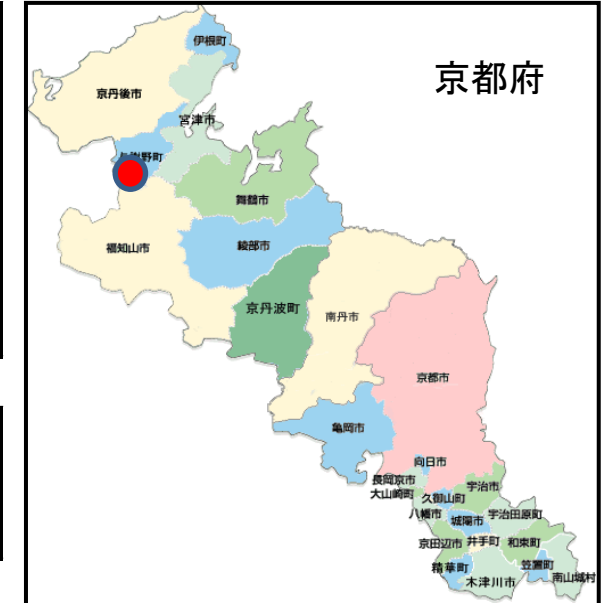
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年2月26日 16:00~17:15
- 場 所: 与謝野町役場加悦庁舎
- 出席者: 農業委員5人、最適化推進委員4人
農業委員会事務局2名
- 報告者: 泉 良 悟 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 与謝野町の南に位置し、平地農業地域、中山間地域を包括する地域である。
- 町内で最も広大な地域であり圃場の区画も概ね整備され水稻を中心とした農業地域である。
- 地ビールの原料であるホップ生産(H29栽培面積6反)がされている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業基盤の維持・修繕について一層の取り組みが必要である。
- B分類のうちの非農地判断については、滝・加悦奥地区が割合が高い。
- B分類のうちの非農地判断については、小学校区内の委員が現地調査し、地元農事組合長等に確認してもらい農業委員会総会に上程してはどうか。

4 活動結果

- 情報・意見交換 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援